

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	帝京大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	テイキョウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103769
	大学等名1(代表大学等) 学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等) 学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ / プレ・インターンシップ
	学部・研究科等名	経済学部・法学部・文学部・外国語学部・教育学部・医療技術学部
	担当教職員名・役職	高野 裕 (共通教育センター)
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	55
	受入企業等数	44
	受入企業等名	株式会社エービーシー商会、株式会社ウチダシステムズ、大原学園グループ、京王グループ(京王百貨店、京王ストア、京王バス、西東京バス、京王自動車)、株式会社学研ココファン、株式会社紀伊國屋書店、ケーアイディー株式会社、株式会社コナカ、株式会社サイサン、埼玉トヨタ自動車株式会社、三愛オブリ株式会社、株式会社サンドラッグ、大成温調株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、東京キリンビバレッジサービス株式会社、株式会社トーヨーホールディングス、株式会社日興商会、一般社団法人バスケットボールジャパンアカデミー、株式会社マミーマート、丸三証券株式会社、名鉄観光サービス株式会社(銀座支店)、八千代エンジニアリング株式会社、株式会社ヤマト、ほか17社
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動	
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	1.販売セクションでの店頭接客業務や営業セクションでの営業同行をし、お客様とのコミュニケーションの取り方を社外との接点で学ぶほか、実際の社内業務に触れ管理セクションの仕事の流れ、人事セクションから業界について客観的な学びを得て、自身のスキルアップや就職活動に活かせる内容 2.業界や企業が抱える課題を発見し解決する「課題解決(PBL)型」のインターンシップ
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 4単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3年次を対象に授業科目「インターンシップ」とし計30回の講義を実施。夏期休業期間中に原則、就業体験を伴う5日以上(コロナ等の状況により変動あり)の実習を行い、履修学生は全員がインターンシップに参加できる。単位認定は通年で4単位を付与している。また、前提科目とし学部2年次を対象に「プレ・インターンシップ」を開講し、15回の講義にて2単位を付与している。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	1.学生へ日々の取り組みを「実習日誌」を用い記録させている 2.企業担当者より「勤務評価表」を記入いただいている 3.学生へ参加している実習についてのアンケートを実施している
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	実習前(前期15回の授業)では、次の5点を中心に実施。①インターンシップに対する目的意識の明確化。②挨拶・マナー等の基礎。③現場での課題対応の仕方。④(夏期尚書の授業)企業が「求める人材」の理解。⑤「実習前に決意表明」の実施。インターンシップ受入企業担当者を招き、スピーチ(成果発表)を実施。②社会人として働くための心構えやスキル修得。③卒業後のキャリアデザインを明確
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細		
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	実習中、学生は日々の取り組みを「実習日誌」を用い記録し、企業担当者は学生の参加状況を「勤務評価表」に記載。それぞれ記入後、大学に提出し内容の確認を行う。あわせて学生へアンケート(満足度、良かった点、良くなかった点、気づいたこと)を行い、状況を確認している。また、学生からの報告状況や申し出によっては、実習期間中(夏期休暇期間中)も面談等の相談を行っている。	
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細	参加学生は「実習日誌」を作成し、実習内容を日々記録。あわせてアンケート(満足度、良かった点、良くなかった点、気づいたこと)を行い、状況確認を行う。受入企業担当者からは「勤務評価表」による客観的評価を実施。なお、実習前には「意思表明」を行い、取り組みたいこと・実習への抱負を発表させ、実習後には「成果報告会」を行い、実習で学んだ内容や今後取り組みたいことについてのスピーチを行い、学生の自己理解およびスキルアップへの動機づけとしている。	

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	実施期間の5日間実施
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	原則5日以上の実習実施。2021年度以降はコロナ禍の影響等により、5日間の実習期間を確保できない企業も含まれる。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
		5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受入企業担当者には、事前に本科目の到達目標や趣旨(就業体験を伴う5日以上の実習であること、企業説明会やセミナー等の受講としないこと)をお伝えしたうえで、大学WEBシステムを利用し、実習プログラムの提示をお願いしている。実習内容が本科目の趣旨にそぐわない場合は、実習内容の変更依頼をし、実践的かつ効果的な実習の実施を目指している。また教員が実習受入企業へ訪問を行い、企業担当者と実習の状況などヒアリングを行っている。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.teikyo-u.ac.jp/studentlife/career/internship	
問い合わせ先	大学等名	帝京大学
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	吉原 岳人
	電話番号	042-678-3307
	メールアドレス	career@main.teikyo-u.ac.jp